

うえだ 環境市民会議 News

第27号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行:うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話:0268-23-5120

FAX:0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

CO₂削減に向けて

うえだ環境市民会議議長 山口春香

北海道洞爺湖サミットが閉幕となり、G8は期待された温室効果ガス排出削減の具体的な数値目標を残さぬまま、「2050年に世界の排出量を半減」との長期目標を共有するにとどまりました。一方、地球温暖化が急速に進む中、今年から京都議定書のCO₂削減の約束期間がスタートし、いまや環境問題は国際的な重要課題となり、とくに地球温暖化の問題はすぐに行動に移さなければならない緊急課題です。

このような状況のなか、私たち市民は温暖化防止のために日ごろの暮らし方を見直し、「いま、何をしなければならないのか? 何ができるのか?」を考え、できることから実践することが重要です。今年、上田市に於いては「上田市環境基本計画」が策定され4月より施行されました。この計画は上田市の望ましい将来の環境像を「森・水・風・人 ふれあい共に生きる環境未来都市うえだ」とし、持続可能な社会と未来に誇りうる自然環境共生都市を構築していくことが示されています。この計画の実現のために具体的な施策や目標を定め、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担い協働しながら「豊かな環境、美しい自然」を将来に引き継いでいくことがそれぞれの責務です。うえだ環境市民会議ではこれを推進するため、各プロジェクトチームで取り組んで参りますが、何と云っても市民の皆様の御協力が不可欠です。一人ひとりができることから始めましょう。次世代の人たちのために!!

最後になりましたが、今年度当会議の議長を仰せつかりましたので、企画運営委員の皆様、会員の皆様の御協力をいただき、微力ながら努力してまいります。よろしくお願い致します。

今年もよろしく

うえだ環境市民会議副議長 村山顕

このたび、皆さんの推薦により、副議長をやらせていただくことになりました。皆さんの多くの方とは違って、特にこれといった、環境に直接関わる団体や、研究や運動をしてきているわけではありませんが、自分なりに課題を見つけてやっていきたいと普段から考えています。

地球温暖化の問題は、ここ10年ほど、特に叫ばれて、私たちは「CO₂」「温室効果」「地球温暖化」「異常気象」などの言葉をよく耳にし、使うようになってきました。地球のことも当然ですが、私たちの住んでいるここ上田市を環境的によりよい町にしていきたい、より住みよい町にしていきたいと思っています。医療やゴミ処理などの問題もありますが、安心して住める町、自慢できる町、みんなが上田に住みたいと思うような町づくりのほんの一端に関わっていけたらなあと思っています。

「打ち水大作戦」に参加して

上田市環境 ISO ネットワーク 宮原英朋

7月22日、上田市・うえだ環境市民会議主催で

開催された上田駅前での打ち水大作戦に参加しました。この取り組みは7月22日から8月23日までの期間、全国規模で展開されるもので、打ち水という伝統的な文化の効果を科学的に検証しようという、社会実験でもあるようです。当日は、二十四節気の一つ「大暑」というだけあって、夏のギラギラした日差しが真っ盛りのいかにも夏本番、出来れば自分に打ち水を…という心境でしたが、夏にも負けない元気な子供たちの歌に背中を押され、打ち水開始。アスファルトが焼けているためあたりは湿気が立ち込め、少し蒸し暑くも感じました。水を撒くことで奪われる気化熱が気温を下げるのが打ち水の効果だそうです。そういえば、京都の旅館や料亭等、入口に続く石畳の打ち水は趣向が良い程度の認識しかありませんでしたが、ひやっとする感覚があります。昔の人の知恵ですね。さて打ち水の効果はいかに…1.5℃ほど下がったようですが大きな変化はありませんでした。でも全国規模で見たら…。2006年は全国で770万人(日本の人口の約6%)の人が参加されたそうです。こういうイベントを通じて環境問題に関心を持ってもらう、あるいは地域ボランティアや先人の知恵に触れることも大切だと感じました。行動は小さくても、継続・広がり環境問題解決にとって必要不可欠だと改めて認識する良い機会となりました。



▲打ち水をする南部保育園児

「EM ボカシ」講習に参加して

西山京子

「EM ボカシ」のことは以前から雑誌、新聞の記事を見たり消費生活展で話を聞いたりして人にも畑

等にもよいものだとは知ってはいましたが、何を用意したらよいか、使い方もよくわからないでいました。それでもバケツと「EM ボカシ」を購入することができ、使い方を読んでボカシをつくったのですが、最後のところで直射日光があたらないように2週間置いておく場所がなく断念しました。その後、もう一度残っていた「EM ボカシ」で生ごみ堆肥を作り始めましたが失敗してしまったため、別の方法で生ごみの堆肥づくりをしていましたが、いまひとつうまくいきませんでした。

2箇所「EM ボカシ講習」をしていることを知り、行きたいと思っていたところ、今回思いがけないきっかけでお誘いを受け、参加することができました。そこでなぜ失敗したのか教えてもらい、市販の「EM ボカシ」だけでなく、自分たちで作る安価でたっぷり使えることで嬉しくなりました。また、米のとき汁発酵液をつくり、台所の流しの排水口に流してみましたが、少しずつきれいになっていくのがわかりビックリしています。「EM ボカシ」等を使って生ごみを減らし、畑の土がいきいきとなり、しっかりとおいしい野菜が出来ることを楽しみにしています。ありがとうございました。

お知らせ

9月6日・7日

うえだ洋館物語 PT (プロジェクトチーム) が「まちなか洋風建物パース展 at 旧相澤商店」を開催します。旧相澤商店は海野町パークから伊勢宮へ向って右側にあります。入場無料です。お問い合わせは竹内秀夫 (tel 28-7532) まで。

9月8日・9日

ごみ減 PT がレジ袋有料化実施都市・富山県へ1泊2日で視察に行きます。詳細については上田市生活環境課 (tel 23-5120) へご連絡ください。

9月24日 13:30 ~ 16:00

第16回うえだ環境市民会議を清浄園2階第1会議室で開催します。「上田市環境基本計画」に記されている市民・事業者・行政の役割分担や市民がすべきことなどを分かり易く話していただきます。入場無料です。お問い合わせは上田市生活環境課 (tel 23-5120) まで。